

テレビ番組で取り組む多文化共生 「KONBANWA SHIGA」

財自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課

プログラム・コーディネーター マット ダグラス

はじめに

多文化共生社会を実現するためには、分かりやすく正確な生活情報を外国人住民に届けることが重要な柱と言っても過言ではない。情報誌・ラジオ・ウェブサイトを通じて情報提供に取り組んでいる自治体・地域国際化協会が多いが、テレビという媒体を利用するのはあまり例がない。しかし、滋賀県においては多言語生活情報番組『KONBANWA SHIGA』を今年の4月から開始し、滋賀県内の外国人住民への新しい情報提供の誕生となった。

『KONBANWA SHIGA』とは

KONBANWA SHIGAは滋賀県主催の事業で、民放テレビ局びわ湖放送（BBC）との協働で作成されている。毎週木曜日20：55から21：00までの5分にわたって、滋賀県内のポルトガル語を母国語としている外国人住民向けに、ニュース・イベント・祭り・生活情報等を中心にポルトガル語によって放送している。同じ週の土曜日に再放送され、週2回見ることができる。また、外国人住民の約4割しかポルトガル語を母国語としてい

ないことから、番組をスペイン語、タガログ語、中国語、英語に吹き替えて世界最大の動画ウェブサイトである



KONBANWA SHIGAのオープニング映像

YouTubeにもアップロードしている。このためインターネットを介すれば、滋賀県内の外国人住民の約75%が母国語で番組をいつでも見ることができるようになっている。さらに、日本語の字幕が付いているため、日本人も気軽に見ることができる。従って、外国人・日本人を問わず、多くの県民に情報を提供することができる番組となっている。

情報提供の意義

KONBANWA SHIGAのニュースキャスターである滋賀県国際交流員のジェロニモ・ゲレス氏は、「日本のニュースをそのままポルトガル語に翻訳しても役立つ情報にならない。BBCが既に流したニュースの中から、外国人が興味を持ちそうな内容や外国人が必要としている内容を抽出し、説明を付け加えることが大事である」と言っている。つまり、文化の背景が違う外国人住民にはそのままニュースを翻訳して流すだけでは、伝わらない場合があるため、日本の習慣や文化の説明を付け加える必要がある。例えば、今年の6月に放送された番組では、地元の小学校のプール開きに関するニュースにおいて、生徒がプールの掃除をしている映像があったが、大抵のブラジルの学校ではプールがなく、あったとしても生徒がプールや教室等を掃除することはあり得ない。逆に、掃除することは校則を破った児童に与えるバツとして受け止めることが一般的な考え方になる。そこで日本の学校では生徒が教室やプール等の施設を掃除する習慣があることを付け加えて、初めてそのニュースが外国人住民の多くにとって理解できるよ

うになる。また、最近の番組では、日本語の支援が必要とされている児童に対するサポート体制の紹介や、バーベキューをする時の日本のマナーについての紹介もあり、日本社会で自立して、生活できるように各方面の情報を提供している。普段



KONBANWA SHIGAのニュースキャスター、ジェロニモ・ゲレス

のニュース番組と違って、単なる情報伝達だけではなく、日本社会に適応するためのアドバイスが組み込まれていることがこの番組の特徴といえるだろう。

外国人住民への認識度アップ

エスニックメディア（外国人住民向け情報誌）を利用して情報を伝達することと違って、テレビで情報を伝えることで外国人住民だけではなく多文化共生に関心の薄い日本人を含めた一般市民にも番組が広範囲に伝わる。そして、外国語による番組を放送することによって、外国人住民に対する認識を深め、今まであまり外国人に関わりを持ったことのない日本人にも外国人住民と交流するきっかけとなっている。

さらに注目するのは、KONBANWA SHIGAでは地域で活躍している外国人住民を紹介するコーナーがあることである。要支援者と思われがちな外国人住民が自主的に地域で活躍して、外国人や日本人へのサポートを提供する様子を広く知らせている。例えば、滋賀県のバスケットボールチームのレイクスターズに日系ブラジル人が新たに入団したニュースを紹介したときには、多くの県民を喜ばせた。また、パン工場を設立したブラジル人の起業家についての特集では、日本でビジネスを立ち上げた時の苦労やビジネスの成功についていろいろ紹介した。地域の経済を活性化させ、10名の従業員への雇用を提供し、地域に貢献していることは外国人住民に対する印象をよいものにす

るに違いない。「外国人はごみの捨て方が分からない」「外国人は騒音問題を引き起こす」といったイメージの払拭につながることだろう。

番組の多文化共生的な意味合い

情報提供が外国人住民の社会参画を促進することはまちがいない。「日本人との交流が少ない」「イベントがいつ、どこで開催されるのか分からない」「町の広報が読めない」等、外国人住民が抱えている問題はさまざまであるが、母国語によるテレビ番組を通じて情報を入手することはこの問題を解決することを可能にするだろう。地域のルールを知り、イベントに参加し、外国人住民だけの世界から羽ばたき、地域社会との接点を持つきっかけとなったら幸いである。



「滋賀県多文化共生推進プラン」
ブラジルの食材などが並ぶスーパーにおける取材の様子

には、「外国人が多く利用するメディアなど、効果的かつ効率的な提供に努める」「地域活動に積極的に取り組んでいる外国人住民を地域社会に向けてアピールするなどの取り組みも求められている」と記載されており、KONBANWA SHIGAはこれらの目的を実現するための具体的な取り組みとして成功をおさめている。マスメディアの中でも身近な存在であるテレビを利用して、外国人向けに情報提供をすることは効率的であるとともに、外国人住民を地域社会の一員として位置づける上で非常に効果がある。マイノリティである外国人住民は地域社会と疎遠になりがちなので、テレビという表舞台に出ることは有効であると感じた。外国人住民をありのままの姿、地域で活躍している姿を放送することによって、この番組は外国人住民と地域社会との懸け橋となるだろう。